

# インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーजीインストールガイドに載せられています。更に詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルが Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球の環境保護へのご協力に感謝いたします。

# 付属品チェックリスト

- ▶ ハードドライブIDE ケーブル1 本
- ▶ 80 芯線IDE ケーブル1 本
- ▶ フロッピードライブケーブル1 本
- ▶ Bonus Pack CD ディスク1 枚
- ▶ 本イーजीインストールガイド1 式
- ▶ リアパネルモジュール
- ▶ 登録カード

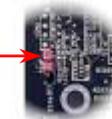
## 1. JP14 によるCMOS クリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。



1 番ピン



正常時  
(デフォルト)

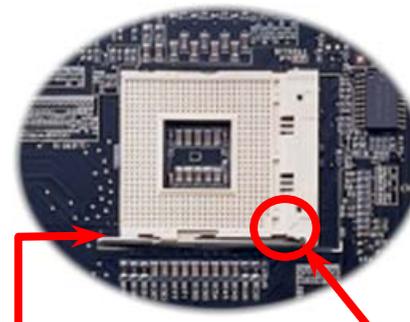


CMOS クリア時

ヒント: CMOS クリアせぬと時必要

1. オバークロック時起動失敗..
2. バーストを忘れた..
3. トラブルシューティング..

## 2. CPU のインストール



CPU1 番ピンおよび面取り部

CPU ソケットレバー

1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置および CPU 上部の (金色の) 面取り部を確かめます。1 番ピンおよび面取り部を合わせます。この方向で CPU をソケットに差します。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻すと、CPU のインストールは完了です。

注意: CPU ソケットの 1 番ピンと CPU の面取り部を合わせないと CPU に損傷を与えます。

### 3. ファンシクのインストール

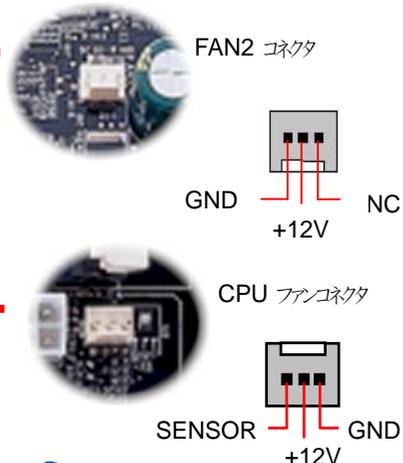
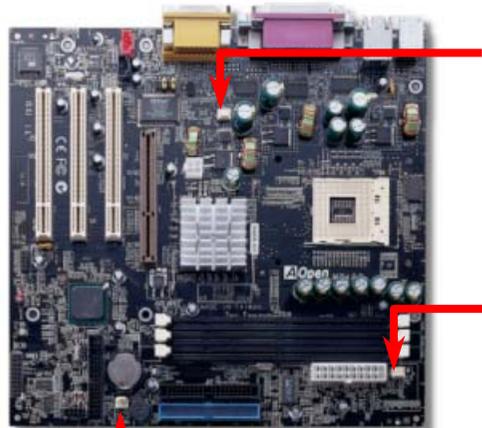
このマザーボードには出荷時に CPU ソケットにリテンションモジュールが装着されています。より効率的な放熱効果には、AOpen 専用のファンシクをリテンションモジュールと併用される事をお勧めします。



1. ファンシクをリテンションモジュールに静かに置き、クリップで四隅を合わせます。
2. 4個のクリップを1個ずつおろしてファンシクを固定します。

### 4. CPU 及びシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは3-ピンの **CPU FAN** コネクタに差します。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルを **FAN2** または **FAN3** (ハードウェアモニタ機能なし) コネクタに差します。



FAN3 コネクタ

※ CPU ファンによっては使用できないものもあります。この場合、ファンのモニタ機能は使用できません。

### 5. CPU 電圧およびクロック設定

#### CPU コア電圧の設定

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は 1.3V to 3.5V の範囲で自動検出されます。CPU コア電圧を調節する必要はありません。

#### CPU クロックの設定

このマザーボードは CPU ジャンパー不要設計です。CPU クロックは BIOS セットアップから設定可能です。ジャンパースイッチ類は不要です。

コアクロック CPU FSB クロック CPU レシオ

CPUレシオ	8x, 9x, 10x, .....22x, 23x, 24x
CPU FSB	100~180MHz

CPU	CPU コアクロック	FSB クロック	レシオ
Pentium 4 1.3G	1.3GHz	100MHz	13x
Pentium 4 1.4G	1.4GHz	100MHz	14x
Pentium 4 1.5G	1.5GHz	100MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1.6GHz	100MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1.7GHz	100MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1.8GHz	100MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1.9GHz	100MHz	19x
Pentium 4 2.0G	2.0GHz	100MHz	20x

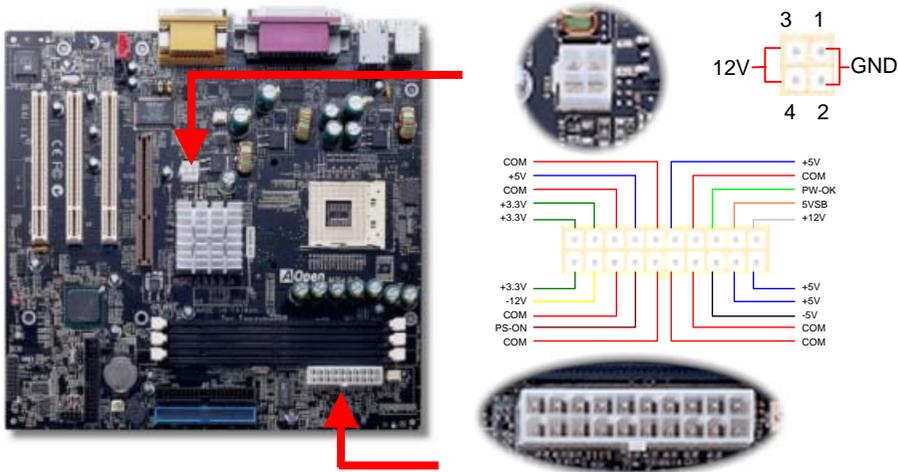
警告 Intel® 845 チップセットは最大400MHz システムバス100MHz \* 4) および 66MHz AGP クロックをサポートしています。より高速のクロック設定はシステム全体の性能を落とす可能性があります。

ヒント: オーバークロックにより、システム起動に失敗してフリーズした場合は、<Home> キーを押すことでデフォルト設定に戻ります。



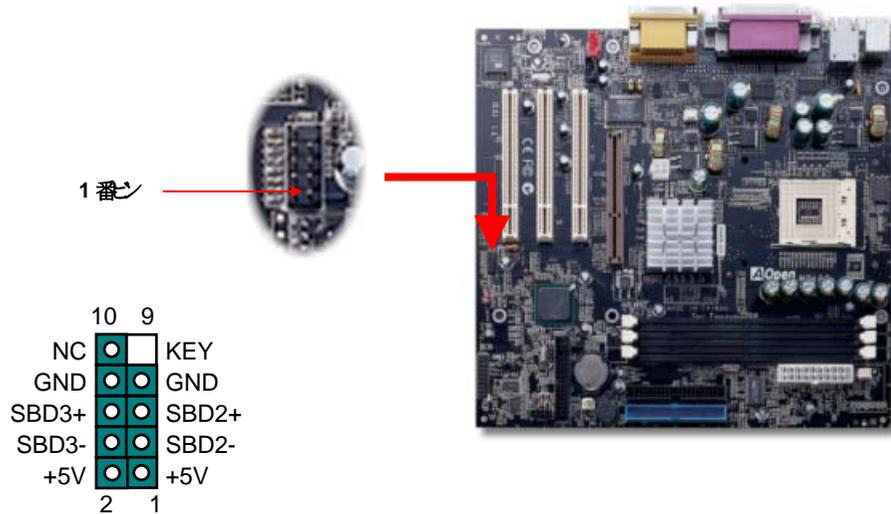
## 10. ATX 電源コネクタの接続

ATX 用電源には下図のように 20 ピンのコネクタが使用されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続するよう強くお勧めします。



## 11. 第2 USB ポートをサポート

このマザーボードには 4 個の USB コネクタがあります。2 個のコネクタは、後部パネルにあります。残り 2 個はマザーボード左側にあります。適当なケーブルにより、これらをケースのフロントパネルに接続できます。



## 12. CD / モデムコネクタの接続

CD-IN (黒)

**CD-IN** コネクタは CDROM または DVD ドライブからの CD オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

**MODEM-CN** コネクタは内蔵モデムカードからのモジュラー入力/マイク出力ケーブルをオンボードサウンド回路に接続するのに用います。



MODEM-CN (赤)

コネクタ	1 番	2 番	3 番	4 番
CD-IN	左	GND	GND	右
MODEM-CN	モノ入力	GND	GND	マイク出力

## 13. LAN ドライバのインストール (オプション)

Intel 845 (Brookdale) チップセットの South Bridge にはオフィス仕様の 10/100Mb Fast Ethernet を含めた総合的なコミュニケーションソリューションが備わっています。Windows95/98, WindowsNT および Windows2000 環境での LAN ドライバは以下の手順でインストールします。

Windows 95 / 98 環境でのアダプタの手動追加

=====  
ドライバのファイル位置: \Driver\Lan\E100BNT5.SYS (NDIS 5.0)

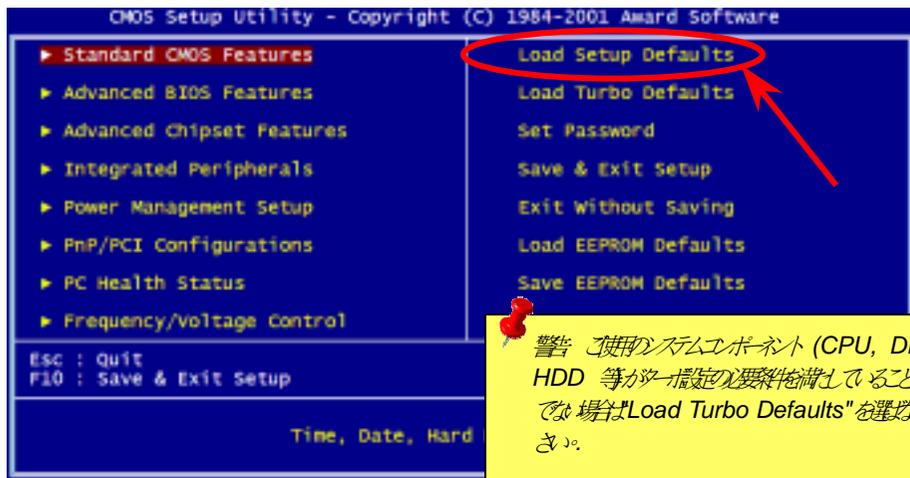
セットアップファイルの位置: \Driver\Lan\NET82557.INF

- 「コントロールパネル」から「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックします。
- リストから「その他デバイスまたはネットワークアダプタ」を選択します。
- PCI Ethernet Controller をダブルクリックします。
- 「ドライバ」タブを開き、「ドライバの更新」をクリックします。
- 「デバイスドライバの更新ウィザード」から「次へ」をクリックします。
- 「ドライバー一覧を表示する」を選び「次へ」をクリックします。
- AOpen Bonus CD をセットしてから「ディスク使用」をクリックします。
- ディスクの入っているドライブイニシャル (例: D:¥) を入力し、OK をクリックします。
- 「デバイスの選択」ダイアログボックスで OK をクリックします。
- 「ハードウェア更新ウィザード」からドライバが見つかったメッセージが表示されますから、「次へ」をクリックします。
- 「完了」をクリックし、確認ダイアログボックスからコンピュータを再起動させます。

## 14. 電源およびBIOS セットアップのロード

Del

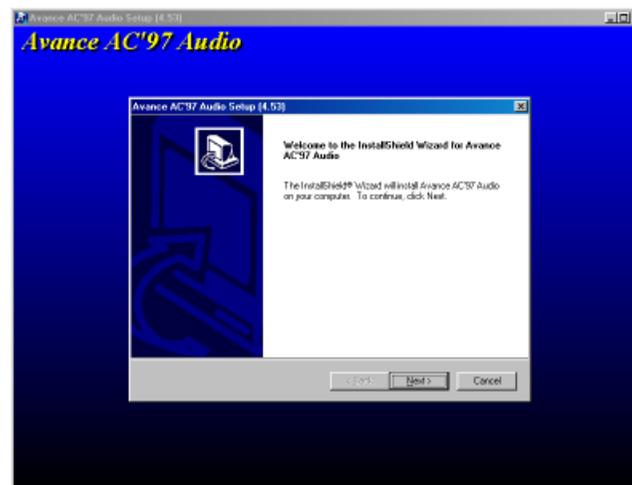
ジャンパー設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中に <Del>キーを押します。"Load Setup Defaults"を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



警告：ご使用のシステムホーネット (CPU, DRAM, HDD 等)がご設定の要件を満たしていることが明かでない場合は"Load Turbo Defaults"を選択してください。

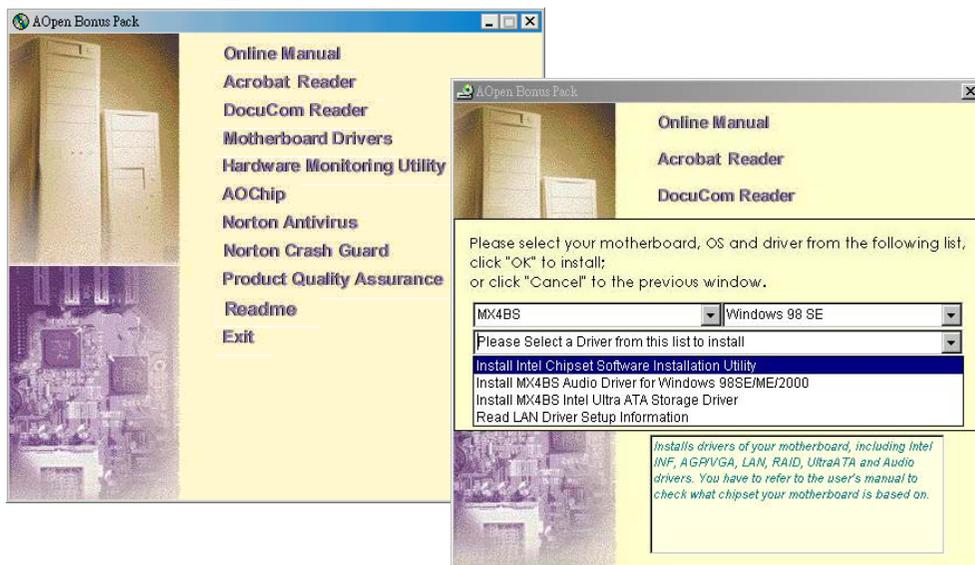
## 16. オンボードサウンドドライバのインストール

このマザーボードには RealTek ALC201 チップが装備されています。オーディオドライバは Bonus Pack CD ディスクオートランメニューに表示されています。



## 15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートランによるメニューが使用できます。必要なユーティリティを選び、ドライバ、型式名を指定します。



## 17. BIOS Upgrade

「AOpen イージーフラッシュ」はユーザーフレンドリーな設計となっています。BIOS バイナリファイルとフラッシュルーチンが一緒になっているので、フラッシュ操作には1つのファイルを実行するだけで十分です。

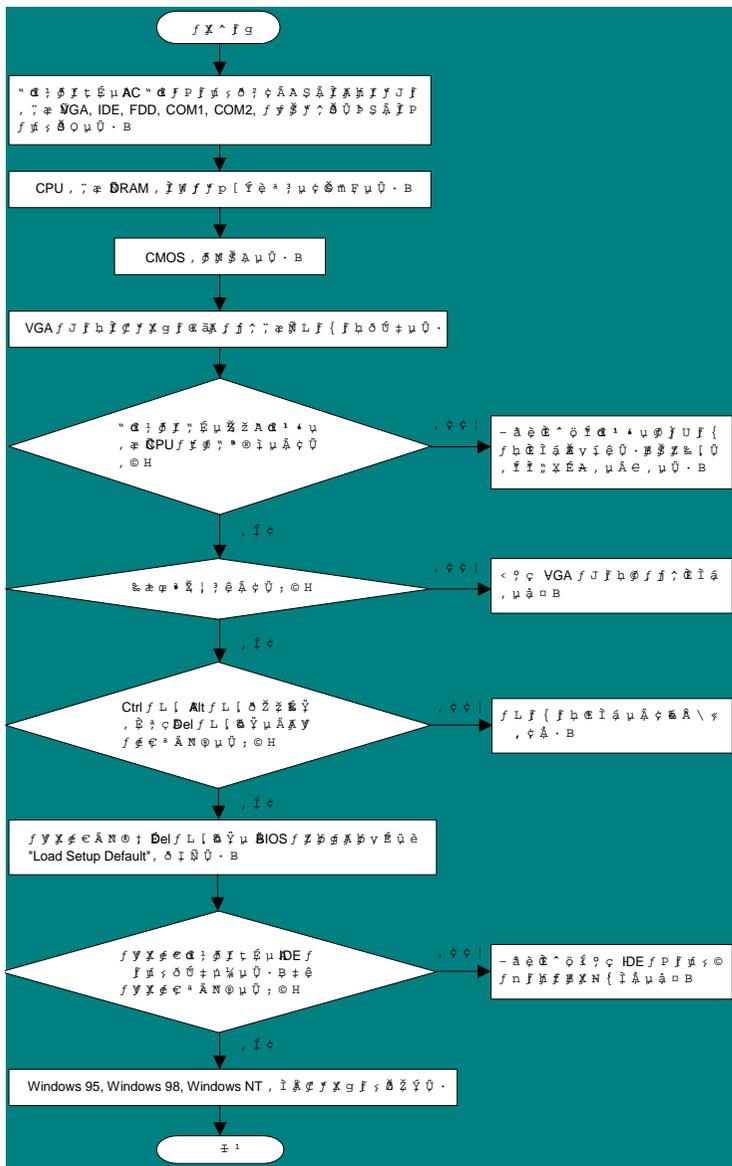
1. AOpen のウェブサイトから最新の BIOS アップグレード zip ファイルをダウンロードします。例えば、MX4BS102.ZIP があります。
2. シェアウェアの PKUNZIP (<http://www.pkware.com>) で、バイナリ BIOS ファイルとフラッシュユーティリティを解凍します。Windows 環境であれば、Winzip (<http://www.winzip.com>) が使用できます。
3. 解凍したファイルを起動用フロッピーディスクにコピーします。例えば、MX4BS102.BIN & MX4BS102.EXE です。
4. システムを DOS モードで再起動します。この際 EMM386 等のメモリ操作プログラムやデバイスドライバはロードしないようにしてください。約 520K の空きメモリ領域が必要です。
5. A:> MX4BS102 を実行すると、プログラムが自動処理します。  
*フラッシュ処理が完了したら、必ず電源を切る必要があります。*
6. システムを再起動し、<Del>キーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup (保存して終了)"します。これで OK です。

警告：フラッシュ時は前のBIOS 内容が書き換えられます。BIOS の設定が Win95/Win98 のアラウンドレイ情報はクリアされるので、システムの再設定が必要となります。



# トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた際は、以下の手順で問題を解決します。



## パーツ番号およびシリアル番号

パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。ラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下が一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 がシリアル番号です。

## 型名および BIOS バージョン

型名および BIOS バージョンは最初の起動画面 (POST 画面) の左上に表示されます。以下が一例です。



MX4BS がマザーボードの型名で、R1.00 が BIOS バージョンです。



# テクニカル サポート

お客様各位、

この度は AOpen 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら毎日いただく E メールおよび電話のお問合せが世界中から無数にあり、全ての方にタイムリーなサポートをご提供いたすのは困難を極めております。弊社にご連絡になる前に下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供させていただけます。皆様のご理解に深く感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域

AOpen Inc.

Tel: 886-2-2696-1333

Fax: 886-2-8691-2233

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.

Tel: 31-73-645-9516

Fax: 31-73-645-9604

中国

艾尔鹏国际上海(股)有限公司

Tel: 49-2102-157700

Fax: 49-2102-157799

ドイツ

AOpen Computer GmbH.

Tel: 49-2102-157700

Fax: 49-2102-157799

米国

AOpen America Inc.

Tel: 1-510-498-8928

Fax: 1-408-922-2935, 1-408-432-0496

1

オンラインマニュアル: マニュアルをよくご覧になり、ジャンパー設定およびインストールの手順が正しいことをご確認ください。

<http://www.aopen.com.tw/tech/download/manual/default.htm>

2

テストレポート: PC 組立てには、互換性テストレポートから board/card/device の部分をご覧ください。

<http://www.aopen.com.tw/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられる質問)からトラブルの解決法が見つかるかもしれません。

<http://www.aopen.com.tw/tech/faq/default.htm>

4

ソフトウェアのダウンロード: 下表からアップデートされた最新の BIOS またはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。

<http://www.aopen.com.tw/tech/download/default.htm>

5

ニュースグループ: 発生したトラブルの解決法が、ニュースグループに掲載されたサポートエンジニアまたはシニアユーザーのポスティングから見つかるかもしれません。

<http://www.aopen.com.tw/tech/newsgrp/default.htm>

6

販売店、リセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定およびそのトラブルに対して先方が弊社より明るい可能性があります。また先方のユーザーへの対応の仕方が、次回に別の製品をお求めになる際の参考ともなるでしょう。

7

弊社へのご連絡: ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOS バージョンも大変参考になります。